

協同組合の新時代と協同の組織運営

2001.7.14 岡安 喜三郎

<はじめに>

いくつかのタイプ

・協同組合運営の原点

- ・ICAの「協同組合であることに関する声明」(1995年)
 - 「定義」, 「価値」, 「原則(指針)」
 - 「コミュニティへの関与」(第7原則)
- ・人と人とのヨコの協同・連帯なくして協同組合は存立しない。
 - 「一緒にやろうとすること」に第一義的な価値を見出せるか。
 - 「人と人との関係のあり様」を体現することが協同組合の価値。
- ・参加なくして協同組合の質の維持・向上はできない。
 - 「参加なくして責任なし」(市民参加論)
 - 「正統的周辺参加」(学習論)
- ・協同組合は参加するすべての人が主体になる組織、主体にする組織。

・協同組合の新時代 / 新時代の協同組合

- ・協同組合とコミュニティ(経済のグローバル化を念頭において)
 - あらゆる関心事やニーズにもとづいて協同が生まれるコミュニティを!
 - 協同組合はコミュニティへの熱いメッセージを持ちつづけること
- ・コミュニティ経営に貢献できることが21世紀の協同組合の資格
 - 「会社で働き、地域で『生活』」だけの限界。(現役生活、退役生活)
- ・働こうとする者が協同の力で企業を組織する / 協同労働の協同組合
 - (働く主体どうしの協同、利用者との協同、地域との協同)
- ・高齢協とコミュニティ

・本格的な少子・高齢社会での高齢協

- ・コミュニティ・社会への熱いメッセージを、もっと!
 - 組織として(事業体として)だけではなく、集団としてのメッセージを
 - 何のための高齢協、自分達のめざす高齢者像
 - 「学び行動する高齢者」「尊敬しあい、助け合う高齢者」etc.
- ・全国の高齢者の大連合で、高齢者生協のナショナル・センターを!